

子どもヘルパー研修会を開催しました!

12月18日(金)、産山学園メディアセンターにおいて、産山学園の4年生から7年生までの54名を対象に『村の福祉とお年寄りの現状やニーズを知り、子どもヘルパー活動でのミッション(使命)を持つことができる』を目標に研修会を開催しました。今年は新型コロナウイルスの影響により、会場での密を避ける必要があったため、4年生から6年生までは教室からのリモート参加となりました。



研修では、最初に「福祉とは何だろう?」と自らの経験とヘルパー活動を振り返り、これまでの活動で交流してきたゴールドクラブ(住民主体で健康づくりなどを行っているグループ)のメンバーから、コロナ禍での生活や子どもヘルパーへの期待などについての動画をみて、村の高齢者福祉の現状や課題、自分たちにできることなどを考えました。ゴールドクラブリーダーの岩本清美様からは「もっと参加者が増えるような広報活動や魅力的なプログラムを考えてもらいたい」とのご意見をいただきました。

学園生からは「私達一人ひとりが村民としての自覚を持ち、村を支えるための人材として、お年寄りを気遣い、寄り添い、困っていることを手助けできるようになりたい。そのためには、お年寄りが笑顔になるようにコミュニケーション力を高め、体操・交流・掃除などを楽しく行っていきたい」などの意見が出ました。また、「お年寄りを支えるために子どもヘルパーの役割は大きいと思った」「自分が成長し、将来の仕事や夢を叶えるために、コロナ禍の中でお年寄りをサポートする子どもヘルパー活動の経験は、とても役に立つと思う」といった感想もありました。

最後に、7年生が考えた『学園生がお年寄りを笑顔で明るくする産山村』を子どもヘルパー活動のミッションに決定しました。これからの活動が楽しみです!

